

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハート遊びリテーション児童デイ稲毛海岸		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(児童発達・放課後等デイサービス計) 24人	(回答者数) (児童発達・放課後等デイサービス計) 12人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムでは「個別活動」「集団活動」を組み合わせ、固定しないように工夫しながら実施している。また発達に合わせて構造化された環境やスケジュール・コミュニケーションの絵カードなど視覚支援を実施している。	活動プログラムは5領域に沿ったものを考えたりしています。また自己選択で取り組める課題にも視覚指示なども取り入れています。	スタッフ間で活動実施内容を各自の学びに繋げていけるように研修や定期的会議などを実施して行く。
2	多機能事業所なので未就学児から中学生までのお兄さんお姉さんが在籍しているので長期休みや祝日などで交流する機会が多くお兄さんお姉さんは小さい子のお世話をしている小さい子ども達はお兄さんお姉さんの真似をしたりして活動や身の回りのことを頑張る経験が出来、お互いにとてもいい関係性が出来ています。	年齢など関係なく取り組める活動や室内での過ごし方が出来ています。	今の環境を整えつつ、関係機関や周りの施設との交流をもっと深めていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や周りの施設との交流が少ない。	児童発達・放課後等デイサービスとも高齢者施設との交流はしているがまだまだ少ない	高齢者施設からも誘いはあるがこちらからも積極的に声掛けをして色々なイベントなどを模索する。
2	高学年・中学生への支援が少ない	低学年や支援学校の子の利用が多い為高学年や中学生向けの支援が少ない。	どのようにしたら高学年や中学生の利用者の充実した支援に繋がるのか？安心出来る居場所を提供出来るかを考えていきます。
3			